

わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身に成りますように。
ルカ1章38節

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 下 窄 英 知
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL 095 (843) 3869 FAX 095 (843) 3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp
印刷所 株式会社 藤 木 博 英 社
〒850-0852 長崎市万屋町5-13
TEL 095 (821) 2146 FAX 095 (821) 2148



5月・教皇さまの意向のために祈りましょう

- ①一般の意向：報道における真実、連帯、人間の尊厳
- ②宣教の意向：中国の教会
- ③日本教会の意向：日本における司祭召命の推進

主のご復活のお祝いを申し上げますと共に、東日本大震災の被災者の方々に心からお見舞いを申し上げます。長崎教区としても、今回の大震災で犠牲になられた方々の安息と、家族や家や職を失った方々の1日も早い生活の立て直しのために祈り、できる限りの支援を続けてまいりたいと思います。また、今回の被災の体験が、日本のわたしたちだけでなく世界の人々にとっても、人間としての生き方や社会の在り方について考えを深め、新しい出発点になることを願っています。

1、教区代表者会議（教区シノドス）の最初の準備の年

さて、この1年度、2014年開催予定の教区代表者会議の最初の準備として、各小教区を中心に、歴史を振り返りながら、それぞれ抱えている問題や課題を洗い出すと同時に、教区全体に共通していると思われる問題、あるいは挑戦していきたい課題があれば、それらを分析し、解決のためにどのような方策が考えられるかなどを話し合っていたいだきたいと思います。教区の資料を参考にして小教区評議会でもよく準備をし、議論の成果を年度末までに教区シノドス事務局に寄せていただきます。来年度の地区評議会での話し合いにつなげていただきます。

《2011年復活教書》 家庭 小教区の土台づくり



大司教 ヨセフ 高見 三 明

も自由に発言し、どんな意見にも皆真剣に耳を傾けるようにしてほしいと思います。結論を急がず、ある人あるいは一部の人の強い意見が全体を支配することのないように注意してください。話し合う過程も、わたしたちが教会共同体として成長する上で大切です。

2、小教区の土台づくりは家庭から

ところで、小教区は、基本的に多数の家庭で構成されています。家庭と言っても、一人暮らし、あるいは夫婦だけという家庭もあり、共同で奉獻生活をしている人たちもいるでしょう。ともあれ、家庭は「家の教会」、つまりキリストが生活の中心におられ、家族が信仰と愛でつながっている共同体です。これが小教区の土台となります。司祭や修道者の召命の家族で芽生えます。

今回のような大震災に限らず、家族の誰かを失うとき、残された家族や親族は、お互いのつながりがどれだけ生きがいと幸福の源であるかをあらためて実感させられます。わたしたちも、自分たちの家庭が平和で幸せか、問題はないか、幸せや問題はどこから来ているのかなど、自問する必要があるのではないのでしょうか。

家庭の基礎である夫婦のつながりはどうでしょうか？ その土台が崩れれば、家庭も崩れ、小教区も傷を負います。夫婦が愛し合うなら、一人一人のいのちは生まれる時から死ぬ時まで本当に大切にされ、愛されて、家族のつながりは強いものになるでしょう。「おはよう」、「こんにちは」、「ありがとう」、「ごめんない」などのあいさつ、ほほ笑み、いつも家族のことを気遣い、理解し、助けようとする姿勢なども、親たちから始まります。母親が「太陽」のような存在であつたら、と思います。自分の家族に対する愛は、家族以外の人たちにも広がるはずのものです。さまざまな理由で困っている人々に対する親の心の動きと行動が愛から出たものであれば、子どもたちは自然にその影響を受けていきます。

信仰と愛の心を養うためには、家庭そろって祈り、ミサに参加することが大切です。夫婦あるいは家族と一緒に聖書を読むことができればなお幸いです。皆そろっての祈り、状況に合わせて努力してください。神さまへの深い信頼と愛の心で祈ることの大切さを子どもに教えることができれば幸いです。何よりも祈りと生活が結びつくように、つまり、祈りを熱心にすると同時に、生活の中で夫婦や親子、兄弟姉妹、他人とのかわり方が愛のこもった言葉遣いや態度になるように努力してください。

親の祈りの生活と実際の生活が矛盾していないことが一番の教育だと思います。とはいえ、子どもたちの信仰教育、教会から遠ざかる若者がいることなどは、親も主任司祭も頭を悩ませている問題です。大人には、キリストとその教えをどのように信じ、理解しているのか、また、信じていることをどのように教え、特にどのように生きているのかが問われていると思います。

また、家庭の中で、それぞれが何かの役割を担うことは、家庭生活に参加し、責任感と協調性を身に付け、家族の一体感を味わって、生きるつらさとして以上の喜びを体験するために大切ではないでしょうか。子どもも年齢に応じて、小さなことから大きなことまで家族のために何かができるはずです。家族で話し合ってみてはどうでしょうか。

3、むすびに代えて

長崎教区は十年来、家庭がいくつか集まって「小共同体」をつくり、小共同体が小教区を形づくることを目指しています。この4月に教区本部事務局のもとに「家庭特別委員会」を設置し、その中に「小共同体推進室」を移設しました。この委員会は、家庭に奉仕するために信仰養成部・福音化推進部・教会奉仕者等養成部とも連携して活動します。

カトリック長崎大司教区 2011年度収支予算概略

【収入の部】			
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異
1.経常収入の部	470,060,603	444,597,160	25,463,443
教区費	141,400,000	146,400,000	△5,000,000
信 徒	125,000,000	130,000,000	△5,000,000
司 祭	11,000,000	11,000,000	0
修道会	5,400,000	5,400,000	0
特定献金	36,000,000	36,000,000	0
特別献金	30,000,000	27,500,000	2,500,000
諸委員会活動費	2,790,000	4,140,000	△1,350,000
その他	259,870,603	230,557,160	29,313,443
受取利息	30,000	30,000	0
雑収入	490,000	490,000	0
小教区拠出金	259,350,603	230,037,160	29,313,443
2.財務収入の部	88,150,000	99,150,000	△11,000,000
固定資産収入	3,150,000	3,150,000	0
その他の財務収入	85,000,000	96,000,000	△11,000,000
内部貸付金回収	—	16,000,000	△16,000,000
立替金返済収入	—	0	0
国宝保存財務資金	80,000,000	75,000,000	5,000,000
資金取崩収入	5,000,000	5,000,000	0
収入の部合計	558,210,603	543,747,160	14,463,443

【支出の部】			
科 目	本年度予算	前年度予算	差 異
1.経常支出の部	541,210,603	465,007,160	76,203,443
宗教活動費	7,150,000	2,900,000	4,250,000
諸委員会活動費	21,726,000	23,721,000	△1,995,000
負担金	25,390,000	58,470,000	△33,080,000
神学生養成費	70,758,547	0	70,758,547
司祭生涯養成費	9,000,000	9,000,000	0
不動産管理費	4,000,000	4,000,000	0
人件費	331,231,317	291,170,600	40,060,717
福利厚生費	35,982,080	37,379,560	△1,397,480
維持管理費	19,926,200	18,000,000	1,926,200
事務費	14,040,000	14,150,000	△110,000
予備費	2,006,459	6,216,000	△4,209,541

科 目	本年度予算	前年度予算	差 異
2.財務支出の部	17,000,000	78,740,000	△61,740,000
財務支出	14,000,000	24,000,000	△10,000,000
特別会計支出	0	50,740,000	△50,740,000
積立金支出	3,000,000	4,000,000	△1,000,000
支出の部合計	558,210,603	543,747,160	14,463,443

今年度から、財務支出としていた長崎カトリック神学院・長崎コレジオの支出を経常支出とし、負担金支出としていた日本カトリック神学院の支出と合わせて「神学生養成費」とした。経常支出の増加と財務支出の減少はこのためである。

前年度と比較すると、信徒の教区費収入が5,000,000円減であるが、これは各小教区の教区費を積算した結果。原因は収入がある世帯の減少や高齢化があると思われる。

本年度予算を見ると、経常収入470,060,603円に対して経常支出は541,210,603円で、71,150,000円の不足。よって、財務収入の大浦天主堂拝観料からの80,000,000円があるものの、「資金取崩金収入」として5,000,000円を補てんしなければ、本年度予算が組めなかった。この資金については、決算時に詳細を報告したい。

2012年度以降も、信徒の教区費と大浦天主堂拝観料の減少が見込まれ、さらに2011年度予算には入れなかった「言の波」(3,000,000円)の復刊や教区シノドスなどへの新たな支出も想定されるため、教区財政は深刻化するものと予想される。



大分教区 高松教区
司教叙階式日程と場所決まる
長崎教区司祭パウロ浜口末男被選司教の大分教区司教叙階式について、次の通り発表があった。
日時・2011年6月26日(日) 午後2時
場所・ヒーコンプラザ(別府国際コンベンションセンター)
略歴
1948年8月1日長崎

県生まれ(62歳)。75年3月19日司祭叙階。長崎教区の大浦教会、出津教会で助任司祭、大曾教会、長崎カトリック神学院院長、福江教会で主任司祭、教区顧問、下五島地区長を歴任。2005年4月から高松教区に派遣され、教区事務局長、香川県の小豆島教会など高松地区協力宣教司牧協力司祭、高松地区協力宣教プロックで執り行われる。

また、大阪教区司祭使徒ヨハネ諏訪榮治郎被選司教の高松教区司教叙階式は、6月19日(日)午後2時からカトリック高松司教座聖堂(桜町教会)で執り行われる。

ク桜町教会担当司祭などを務め、10年から香川県東讃ブロック協力宣教司牧の協力司祭、高松教区司教館担当。

長崎教区においても、今年度はスタートした。今年には司祭の転任も多く、3月末には、長崎教区から新司教が誕生するという吉報もあった。▲新年度に合わせ、家庭特別委員会が設置された。これについては高見大司教が4月号『言の波』で説明している。ぜひ一読をお願いしたい。▲教区代表者会議(教区シノドス)の準備も始まる。準備とはいっても、各小教区・共同体にとっては実質的には本番だ。未来を見据えた議論に、ぜひ「参加」していただきたい。▲教会は、単にお参りする所ではなく、冠婚葬祭の儀礼の場だけでもない。信徒が宗教的なサービスを受けるためだけに存在しているのではなく、サービスを提供する聖職者が教会を形成しているのではない。聖職者と信徒が、共に唯一のキリストの教会をつくり上げているのである。▲つまり、教会は、参加し、交わる場だ。そして、その頂点がミサ聖祭である。従って、ミサは「参列」するものではなく、「参加」し「交わる」ものなのである。▲さらに、教会は自分たちだけの交わりに止まるものではなく、全人類の交わりに開かれ、それに向けられている。つまり、宣教する使命を持っている。▲人間の最初の交わりの場である家庭への取り組みと教区シノドスによって、高見大司教のモットーである「参加し、交わり、宣教する」長崎教区の歩みが促進されることに期待したい。(S)



長崎大司教区現勢統計表（2010年12月31日現在）

地 域 ……	長 崎 県	小 教 区 ……	71		信徒数	司祭・他	計
面 積 ……	4,105平方キロ	準小教区 ……	1	2008年度（総数）	63,165人	1,053人	64,218人
県 人 口 ……	1,426,594人	巡回教会 ……	60	2009年度（総数）	62,425人	1,082人	63,507人
カトリック ……	（総数）63,081人	集 会 所 ……	1	2010年度（総数）	62,021人	1,060人	63,081人

小教区名	信徒総数			世帯数	洗礼		ミサ参加者			結婚			死亡者
	男	女	計		幼児	成人	主日	復活祭	降誕祭	信者 同土	信徒・ 他宗教	他宗 同土	
浦上	3,064	3,857	6,921	1,485	48	13	1,700	2,500	3,500	7	30	1	63
稲佐	463	537	1,000	292	1	0	180	200	250	0	3	0	5
城山	1,267	1,467	2,734	748	11	4	750	950	1,200	2	5	0	16
西町	1,113	1,312	2,425	769	14	9	800	1,500	1,500	1	14	0	29
本原	980	1,179	2,159	515	11	8	700	1,000	1,200	4	10	0	24
三ツ山	134	146	280	74	0	0	150	180	190	0	2	0	2
中ノ島	567	749	1,316	442	11	10	350	450	420	0	6	0	16
神ノ島	203	267	470	169	2	4	250	250	250	0	0	0	10
木鉢	441	557	998	292	4	6	300	400	600	0	1	0	11
飽の浦	779	1,027	1,806	499	4	1	500	700	800	0	12	0	30
本河内	74	102	176	56	5	3	70	90	100	0	0	0	1
八幡町	172	235	407	125	2	3	110	110	150	1	1	0	4
愛宕	285	508	793	231	2	1	150	200	300	1	2	0	6
大浦	335	437	772	328	4	4	250	300	300	1	5	16	16
大山	135	179	314	82	1	2	150	200	200	1	2	0	5
小ヶ倉	322	420	742	237	5	0	160	350	330	1	3	0	1
深堀	569	648	1,217	366	11	1	300	400	450	1	7	0	15
香焼	225	278	503	178	1	0	200	300	300	2	0	0	4
馬込	154	247	401	210	2	2	180	200	200	0	4	1	13
滑石	1,122	1,268	2,390	650	8	7	550	700	850	1	12	0	22
出津	313	406	719	239	4	1	300	400	500	1	0	0	22
黒崎	384	426	810	220	1	0	250	350	350	0	2	0	21
時津	519	597	1,116	314	13	2	350	700	700	3	7	0	5
長与	465	523	988	313	7	4	220	320	420	1	1	0	5
東長崎	608	766	1,374	365	6	3	350	550	650	1	0	0	7
植松	800	893	1,693	463	18	16	500	600	800	5	7	0	16
水主	304	336	640	235	8	2	200	350	350	1	0	0	6
諫早	467	562	1,029	292	2	0	330	400	450	0	2	0	6
愛野	18	41	59	26	4	0	18	25	60	0	0	0	0
島原	73	96	169	76	2	2	35	100	180	0	2	5	0
湯江	75	268	343	43	3	1	240	240	250	0	1	0	5
三浦	507	680	1,187	383	6	1	400	500	600	1	3	0	11
鹿子前	315	378	693	188	3	1	250	350	400	1	6	7	9
俵町	340	378	718	224	3	0	220	300	350	0	5	0	4
大野	512	577	1,089	312	4	1	250	350	450	0	2	0	11
相浦	533	635	1,168	452	6	4	400	500	600	2	5	0	16
浅子	440	458	898	231	4	1	400	500	500	2	5	0	9
黒島	239	267	506	226	1	0	300	450	450	0	1	0	14
太田	163	126	289	115	1	1	140	200	250	1	2	0	8
神崎	853	882	1,735	368	15	2	450	800	900	1	6	0	11
褥崎	409	378	787	216	6	2	300	550	550	0	3	0	9
大崎	245	319	564	133	5	3	280	360	400	1	4	0	3
天神	218	276	494	150	5	3	120	170	250	0	3	0	4
早岐	250	300	550	170	12	7	200	250	250	1	0	0	1
平戸	339	394	733	212	4	0	250	350	400	0	5	0	7
上神崎	255	260	515	149	3	2	250	350	350	0	2	0	4
宝亀	185	207	392	90	5	2	170	230	250	0	4	0	7
田平	337	399	736	223	1	0	350	600	600	0	2	0	6
紐差	556	674	1,230	287	5	0	500	800	700	1	5	0	11
西木	298	321	619	201	1	2	200	250	300	0	0	0	12
平戸	320	446	766	228	7	4	230	300	350	2	0	0	10
山田	134	185	319	61	0	0	100	250	250	0	0	0	4
青方	143	170	313	110	1	0	200	300	300	0	0	0	6
大曾	196	182	378	128	1	0	250	370	370	0	0	0	4
青砂ヶ浦	578	623	1,201	371	5	3	330	550	600	2	0	2	12
丸尾	216	245	461	129	2	1	220	300	350	0	0	0	4
仲知	129	141	270	140	1	0	200	220	220	1	2	0	6
曾根	275	281	556	206	2	1	250	350	350	2	0	0	8
鯛ノ浦	362	450	812	208	1	0	250	400	450	0	2	0	4
浜串	220	226	446	200	2	0	280	350	380	0	0	0	9
桐	269	298	567	206	5	4	220	300	300	2	0	1	4
真手ノ浦	217	170	387	134	0	0	150	280	200	0	0	0	6
土井ノ浦	191	205	396	82	0	0	120	180	220	0	1	0	11
福江	589	597	1,186	454	8	4	500	700	800	2	3	0	19
浜脇	47	53	100	40	0	0	45	70	70	0	0	0	1
浦頭	193	276	469	210	0	0	200	300	350	1	3	0	8
奈留	220	233	453	172	0	0	100	130	130	0	0	0	6
水の浦	301	321	622	169	2	3	300	450	450	1	5	0	7
三井	123	213	336	140	1	1	250	300	300	1	0	0	5
貝津	71	99	170	60	2	0	70	90	90	0	0	0	0
井持	74	72	146	60	0	0	50	80	60	0	0	0	7
合計	28,292	33,729	62,021	18,172	345	162	20,338	29,145	32,940	60	220	33	684

永井隆平和基金
正式にスタート

「永井隆平和基金」が2011年4月1日をもって

4月7日の日本カトリック司教協議会常任司教委員会において、聖金曜日に「東北地方太平洋沖地震」とご明記ください。

振込先 郵便振替番号 0017005195 979 加入者名 カリタスジャパン 通信欄に「東北地方太平洋沖地震」とご明記ください。

東日本大震災被災地へ
引き続き支援を

祭儀の盛大共同祈願の意向として、東日本大震災の被災者のための意向を準備することが承認された。日本カトリック典礼委員会によって準備された2つの意向、「東日本大震災の被災者のために」「東日本大震災の救援活動にたずさわる人々のために」は、長崎教区においても教区長の判断により、

ローマ教皇、「主の晩餐のミサ」の献金を寄付 教皇ベネディクト16世が司式する4月21日（木）の「主の晩餐の典礼」で、「愛のわざ」として日本の地震と津波被災者のための献金が行われた。奉納の際に教皇に手渡された。

て正式にスタートした。基金では、世界平和を求めた故永井隆博士の「如己愛人」の精神に倣い、21世紀の教会を担う

青少年たちが平和の担い手となるよう、より健全な育成の推進を図ることを目的に、長崎教区内の教会および教区福音化推

進部が実施する特色ある新たな取り組みや、平和学習・体験活動などのそ野を広げるような活動を中心支援を行っていく。基金には、福音化推進部外から招聘する有識者の委員で構成する審査委員会（委員長は教区福音化推進部長）を置き、支援の申請に応じて審査を行うことにしている。

同基金は、各教会での献金および募金、基金目的に賛同する個人または団体などからの寄付金などによって運用される。基金に関する問い合わせは、TEL095-842-4450 教区本部事務局内「永井隆平和基金管理普及課」まで。



信徒使徒職のあゆみ 冊子完成と小教区への配布完了 1957年9月に発足し、教区組織の見直しによって2006年3月に解消した教区信徒使徒職評議会。その歩みをつ

づつた冊子「長崎大司教区信徒使徒職評議会のあゆみ」がこのほど出来上がり、各小教区、修道会、アクション団体などへの

配布が完了した。同評議会の活動は49年に及ぶ。発足から1978年までについては、当時の信徒使徒職評議会会長、井上康宏氏（故人）がまとめた「長崎教区における信徒使徒職30年の歩み」に記されていて、今回発行されたのはそれ以降の歩みについてのも

の歴史がうかがえるので、単なる過去の記録集とするのではなく、教区評議会をはじめ地区、小教区評議会の使徒職活動の一助となることを願っています」と話している。

▼イエズス会立山修道院 お知らせ ●祈りの一日 ①5月16日（月） ②5月28日（月）

▼雲仙殉教祭 5月15日（日）13時 雲仙メモリアルホール

▼「浦上天主堂遺品展」開催中 5月10日（火）まで 原爆資料館 無料 ※常設展示は一般200円が必要。小中高生100円が必要。 ①5月4日（水）、5日（木） ②5月28日（土）（雨天時は5月30日（月）に変更） 申込先・旧出津救助院事務局 TEL・FAX0959（25）1002

長崎カトリック神学院 ●白井洋子様（浦上） 故マリア白井秀子様 右の方から神学生養成のために、香典返しに代えてご芳志を賜りました。お礼とご報告を申し上げますとともに故人のごめい福を心からお祈り申し上げます。

香典返し お礼とご報告

（月）6日（月）③5月30日（月）④6月13日（日） ⑤6月13日（日） ⑥6月13日（日） ⑦6月13日（日） ⑧6月13日（日） ⑨6月13日（日） ⑩6月13日（日） ⑪6月13日（日） ⑫6月13日（日） ⑬6月13日（日） ⑭6月13日（日） ⑮6月13日（日） ⑯6月13日（日） ⑰6月13日（日） ⑱6月13日（日） ⑲6月13日（日） ⑳6月13日（日） ㉑6月13日（日） ㉒6月13日（日） ㉓6月13日（日） ㉔6月13日（日） ㉕6月13日（日） ㉖6月13日（日） ㉗6月13日（日） ㉘6月13日（日） ㉙6月13日（日） ㉚6月13日（日） ㉛6月13日（日） ㉜6月13日（日） ㉝6月13日（日） ㉞6月13日（日） ㉟6月13日（日） ㊱6月13日（日） ㊲6月13日（日） ㊳6月13日（日） ㊴6月13日（日） ㊵6月13日（日） ㊶6月13日（日） ㊷6月13日（日） ㊸6月13日（日） ㊹6月13日（日） ㊺6月13日（日） ㊻6月13日（日） ㊼6月13日（日） ㊽6月13日（日） ㊾6月13日（日） ㊿6月13日（日）

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋網

エテルナ・ワコー(株)

代表取締役 ミカエル 溝口美義
〒858-0926 佐世保市大湊町586
TEL (0956) 47-4380

マイホームの美容と健康に！

(有) 山 川 塗 装

有限責任中間法人 全国住宅火災防止協会
長崎県建物営繕工事業協同組合理事

代表取締役 ペトロ 山川 進
佐世保市原分町1715-5
TEL (0956) 49-3330 FAX (0956) 49-8729

白蟻調査無料・駆除予防工事5ヶ年保証付
白蟻防除施工士

大田白蟻研究所

代表者 マリア 大島 睦子
(〒850-0811) 長崎市矢の平1丁目14番15号
☎長崎 095-822-8436
FAX 095-822-8436

墓地改修・新設 個人のご相談も承ります

実績 城山教会墓地 飽の浦教会墓地
浜串教会墓地 青砂ヶ浦教会墓地 他 多数

(有)長崎大理石 社長 ヨハネ 濱本直行
本社 長崎市つつじが丘5-1-15 (TEL)095-839-0374
加工工場 諫早中核工業団地

主の平安

株式会社 五島式典社(斎場) 五島中央会館 五島奈留会館

代表取締役 ヨゼフ 浦 昭

24時間営業
五島市上大津町 1385 番地 1 TEL (0959) 74-5551
FAX (0959) 74-5552
五島市奈留町浦 1899-1 TEL (0959) 64-3101
FAX (0959) 64-3102

タンスの中身は入れたまま 責任ある安全運送!!
(見積り無料・荷造り発送も致します)

24時間営業・年中無休
受付時間 7:00~22:00

水 浦 運 送

シモン 水 浦 幹 雄
長崎市上野町12-3
TEL (095) (代) 847-7151
844-1420

貨物保険有り
・一般引越 ・小荷物
・荒ゴミ捨て ・遠距離
・学生引越 ・ピアノ運搬

高松教区の子供たち 長崎で巡礼、ホームステイ



如己堂にて

のマリア修道会十字修道院に立ち寄り帰路について。子供たちの感想。

ながいはかせのきねんかんによつて、ビデオを見ました。ほくは、心がさみしくなりました。それは、長さきのかねがなったことと、つまのみどりさんがしんだお話だからです。(中略) また長ささへいきたいです。

高松・番町教会
小3 河合 元

弾圧と殉教原爆などの不幸を経験して、より深くなった信仰を浦上天主堂のミサで感じました。飽の浦教会のホストファミリーの皆さんに大変親切にしてくださいました。ありがとうございました。深堀さんのチャンポン、一番おいしかったです。

桜町教会
中1 目賀健之

また桜町教会学校リリーダの谷本千佳代さんは、「子供たち一人一人が信仰を顧みる機会になったと思います。今回ホームステイさせていただき、家庭での深い信仰にも触れさせていただき心より感謝しております。一人でも召命の心が生まれるようにと祈りながらの巡礼でした」と振り返った。



また桜町教会学校リリーダの谷本千佳代さんは、「子供たち一人一人が信仰を顧みる機会になったと思います。今回ホームステイさせていただき、家庭での深い信仰にも触れさせていただき心より感謝しております。一人でも召命の心が生まれるようにと祈りながらの巡礼でした」と振り返った。

新神学生・志願生



4月3日の入学式
(長崎コレジオ)

教区、修道会の新入生氏名は次の通り。

▼日本カトリック神学院
哲学科1年
下原 和希(土井ノ浦)

▼長崎コレジオ
大学1年
田代 竜之

(鹿児島・大笠利)
西田 祐尚(飽の浦)

松尾 英樹(相浦)

山口憲次郎(浦上)



2009年7月、小島家の家系調査がきっかけで初めて訪れた五島市久賀島「シヨックだったのは先祖が迫害を受けていたことです。祖父母は蔵小島と奈留島の出身、先祖は「牢屋の窄」で迫害を受けた1人だった。その歴史を知るとともに、少子高齢化、産業の疲弊、労働力の減少といった久賀島の現実を目の当たりにしたことが、「五島列島支援プロジェクト」の

五島列島支援プロジェクト 代表理事 小島由光さん



立ち上げにつながる。プロジェクトの活動の最終目的は、教会の維持と、五島におけるカトリックの歴史と信仰の未来継承。

千葉県で生まれ育ち、現在、東京で外食コンサルティング会社を経営。

した。売り上げの一部は五島の教会の保全活動のために寄付する。この3月、大司教区に贈呈した寄付金は「牢屋の窄」の保全費用に充ててほしいと願う。今後は五島の農水産物、物産品などを大

度々来崎することはできないが、『仕事を通じて社会貢献を』と、具体的な支援の1つとして「BEE GREEN COFFEE」の販売を昨年11月に開始

都市圏で流通し、五島の地域振興、産業支援を推進、売り上げの一部を同じ環境づくりの手助けをしたい。この1年半で6回五島に渡り、そのたびいろいろな教会の信者

さんたちと会うことができた。これからの対話しながら、どのような協力ができるのか、地域に根付く支援活動を目指したい。

結婚当時、心の父のような存在。だった聖コロンバン会の故ピーター・オサリバン神父から「子孫はすべて信者に」という同意書を書かせられたことが心に残る。

「五島列島支援プロジェクト」代表理事。横浜教区・中原教会所属。39歳。

李 晋雨
(ソウル教区出身。福岡教区から日本語学習のため2年間の予定)

松本 竜 (福江) 高校1年
黒丸 恭介 (福岡・武蔵ヶ丘) 高校3年
永栄 恵太

▼お告げのマリア修道会
中学1年
鍋内 佳奈(浦頭)

助成事業として国からの助成金を受けて発行。食べ物がない、体調不良や急病、仕事を探したい時の連絡先、生活保護申請や借金についての相談、緊急宿泊施設などの情報も記されている。

限らず生活困窮者の方々のためにも大いに活用していただけたら」と望んでいる。

また長崎ホームレスを支援する会事務局長の井手義美さん(飽の浦教会所属)は、「路上生活者

ることになる。しかし近隣の伝道師たちの指導もあって、村をあげてのカトリック復帰となった。同教会の洗礼簿を見ると、大水教会の長崎での受洗者は1872年(明治5)に2人、1873年(明治6)に5人、1875年(明治8)に3人となった。

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

ており、その多くは明治8年ごろまでにカトリックに復帰している。幹線道から少しはずれた山の中腹に建つ大水教会は、東シナ海を豊かに望むことができ、今も祈りとあつい信仰が守られている。(曽根教会前主任司祭・長谷功)

者にとって負担になっている。毎週金曜日の4時半から小学生の教会学校、その後5時半からミサ。日曜日は朝の7時からミサがささげられる。冷水教会と青砂ヶ浦教会の中間

生活支援ガイドブック
路上生活からの脱出のために——3月に完成



編集にあたっては、山谷や釜ヶ崎だけでなく身近な人たちへの対応を考えたことをきっかけに聖ヴィンセンシオ会長崎中

央理事會が協力した。荒川澄会長(飽の浦教会所属)は「路上生活者に

冊子は今後、長崎市内を中心に、路上生活者への手渡しをはじめ公共の各福祉団体、病院、民生委員らの他、各教会を通して配布される予定。

として奉仕し、昨年末肺がんを宣告され、修道院での療養を望み、姉妹たちの見守りの中、親族・地域の方々の励ましをいただきながらの闘病生活だった。

葬儀・告別式は、3月17日出津教会にて行われた。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日里脇板機卿によって祝別された。

明治初期の大水は、信仰を守り伝えていく組織も伝道師としての資格をもった信徒もいないキリシタンの集落だった。そのため迫害を受けずに済んだが、集落の信仰復帰は他の地域に比べて遅れ

る小学生は17人。生涯に35の教会を造った鉄川与助が最初に建てた教会で、木造平屋建、天井はリブボルト造り、床下は高く、天井は低い。2005年に新上五島町の文化財に指定された。教会からの眺めがよい分、急な石の階段を上り下りするのが、特に高齢

に、信徒が経営する「やがための宿」があり、宿泊者で希望があれば、青砂ヶ浦教会の朝のミサに車でも運んでもらうこともできる。(青砂ヶ浦教会前主任司祭・大山繁)

冷水教会は、青砂ヶ浦小教区の巡回教会。上五島の中通り島のほぼ中間、奈摩湾を見下ろす山の中腹にあり、曽根教会や仲知教会も見える。1907年5月29日にクザン司教によって献堂された。

現在、毎月第3、第5日曜日の10時からミサが行

わたっている。信徒は15世帯。婦人会など共同体が、

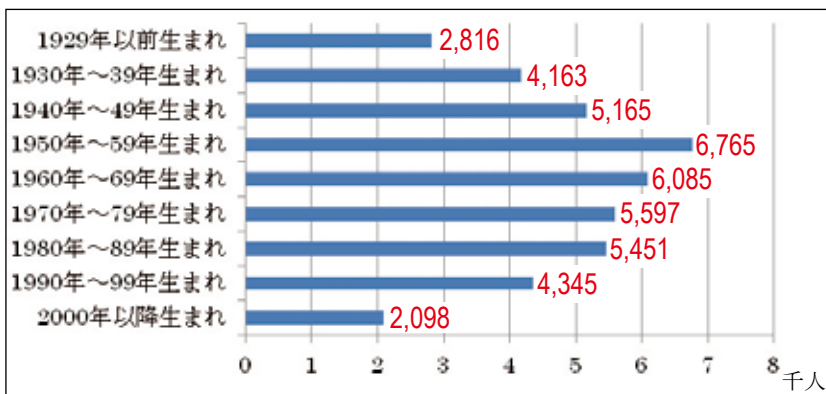
この地区は、集落のほとんどが信徒である。旧聖堂は1916年(大正

5)8月5日に祝別されたが、老朽化のため解体し新聖堂の建設に入った。新聖堂は、1985年(昭和60)12月20日

世代別信徒数調査結果報告 教区顧問会、今後の運営に生かす

長崎教区顧問会は1月から3月にかけて長崎教区の世代別信徒数の調査を行い、3月29日に開催

された顧問会で結果が報告された。



71小教区のうち49小教区から得たデータから分かることは、ほぼ50代にあたる1950年から1959年生まれが最も多く、それよりも若い世代になるほど信徒数の減少が著しいことである。特に2000年以降の世代は最も少なく、少子化の実態が浮き彫りとなった。今後、教区顧問会はこのデータを教区運営に生かしていくことになる。

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」

動機。それはただ単純にきれいだっただけです。ところで御絵の裏には、何かしら「みことば」

みことばにふれて

山口竜太郎神父
(水の浦教会)

と叙階の日付と自分の名前を記すのですが、さて、この御絵にどんな言葉を加えることができるのかなと考えながら、10日



てきて、「一緒に歩き始めてきた」のだけれど、二人は「イエスさまだと分からなかった」。イエス

さまと語り合い「心は燃えていた」のだけれど、それでもまだ二人はイエスさまに気が付かない。夕方になり、イエスさまが「一緒に食事の席に着き」

「パンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった」「すると二人の目が開け、イエスだと分かった」

16年間、時に休学し、それなりに悩んだり、考えたりしながら神学生として生きてきた。けれど、結局自分は何にも分かってはいなかった。一生懸命に自分が頑張っているつもりだった。けれど、そうじゃなくてイエスさま

御絵の裏に記したみ言葉は冒頭に掲げたみ言葉です。これまでの自戒と今も支えとなり、新たにされているみ言葉です。未熟者ですが半年間お付き合いください。

聖骸布写真展

カトリックセンターで開催



キリストの遺体を包んだといわれる「聖骸布」の写真展が長崎で初めて開かれ、4月16～19日の期間、カトリックセンターに多くの人々が訪れた。写真展では、最新の等身大写真(写真)を

父は、長崎での写真展開催に喜びを表すとともに「イタリアのトリノでもこれほど近くで見ることができません」と貴重な機会を来場者に伝えた。「聖骸布」そのものの一般公開は、最近では昨年4月～5月にトリノで行われ、ベネディクト16世教皇が聖骸布についてメッセージを述べている。

来場者は「科学では証明できない謎もあり受け止め方はそれぞれと思いますが、確かに超越したものを感ぜた」と語った。

光源寺での花まつり
釈尊生誕記念日を前に
バチカンからメッセージ
釈尊生誕記念日の4月8日を前に5日、長崎市の浄土真宗本願寺派光源寺において長崎市仏教連合会主催による釈尊御降誕慶讃法要が行われ、教皇庁諸宗教対話評議会議長ジャン・ルイ・トローラ枢機卿から日本の仏教徒に対して送られた花まつり(灌仏会)メッセージの伝達式があった。



写真提供／中外日報社

写真コンクール第2回とるけん長崎

最優秀作品は「ミサを終えて」



「長崎の教会」「スポンサー」各部門の応募者総数は273人、応募総数は1351点。教会部門の応募総数538点のうち「ミサを終えて」が最優秀賞に選ばれた理由について、審査委員長の田沼武能氏は、「ミサを終えて」は新上五島の頭ヶ島教会で、2人の女性がミサを終えて帰っていく場面を捉えたものだ。2人がいることで教会は地元とともにあることがわかる。過疎、高齢化とい

た島の環境も写し込んだ優れた写真だ」と評している。教会部門の特選以上各種テーマ部門受賞の作品は、長崎県美術館(1階運河ギャラリー)で5月8日まで展示される。

2010年度「日本カトリック映画賞」決定

イタリア巡礼の旅
～ヴェネツィア・マントヴァ・アシジ・ローマ～
旅行期間：2011年7月28日(木)～8月5日(金)＜9日間＞
同行：下野 英知 神父 (カトリック長崎大司教区司祭)
旅行代金：398,000円
各国税、燃油特別付加運賃(約26,300円)
コース：①長崎②福岡③ローマ(泊)④本ヴェネツィア(泊)⑤パドヴァ⑥マントヴァ(泊)⑦アシジ(2泊)⑧チヴィタヴェキア⑨ローマ【ローマ教皇謁見予定】(2泊)⑩本(機内泊)⑪大福岡⑫長崎
締め切り：2011年6月17日(金)
添乗員同行、ホテルは4つ星または5つ星クラス利用、全食事付き、最少催行人員20名。
★詳しいパンフレットをご用意しております。お気軽にご請求ください。
旅行企画・実施
PAK パックス インターナショナル
〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-11 土志ビル6階
電話：03-3561-0755 FAX：03-3561-0759

(医) 外尾内科医院
院長 ペトロ 外尾 明利
〒857-1152 佐世保市黒髪町34-4
TEL 0956-33-5557

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売
たつみ産業株式会社
西田商事株式会社
代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

石 碑
墓地工事
写真彫刻
墓地分譲

なが さき せき ちょう
長崎石彫
ヨゼフ 岩永 博明
☎(095) 862-2469
長崎市梁川町 6-17 岩永ビル

主の平安
カトリック式葬祭・飾付一式
(有) 栄光式典社
代表取締役 ヨハネ 西村 勇二
長崎市辻町 7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896